株式会社エムティーアイ

2026年9月期　決算説明会

証券コード：9438　｜　**2026年11月11日（水）**

本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、今後の国内および海外の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確実な要素や潜在的リスク等、さまざまな要因により実際の業績が見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。

エムティーアイ

目次

Contents

FY2026決算概要 P3-
- 決算ハイライト
- 連結PL
- 連結販管費内訳
- 業績予想に対する達成率
- セグメント別業績

FY2027の取り組み P17-
- FY2027基本方針と重点課題
- 薬局DX事業
- 子育てDX事業
- ルナルナみらいサポート
- 学校DX事業

FY2027業績予想 P26-
- FY2027業績予想

資本政策 P29-
- 資本政策

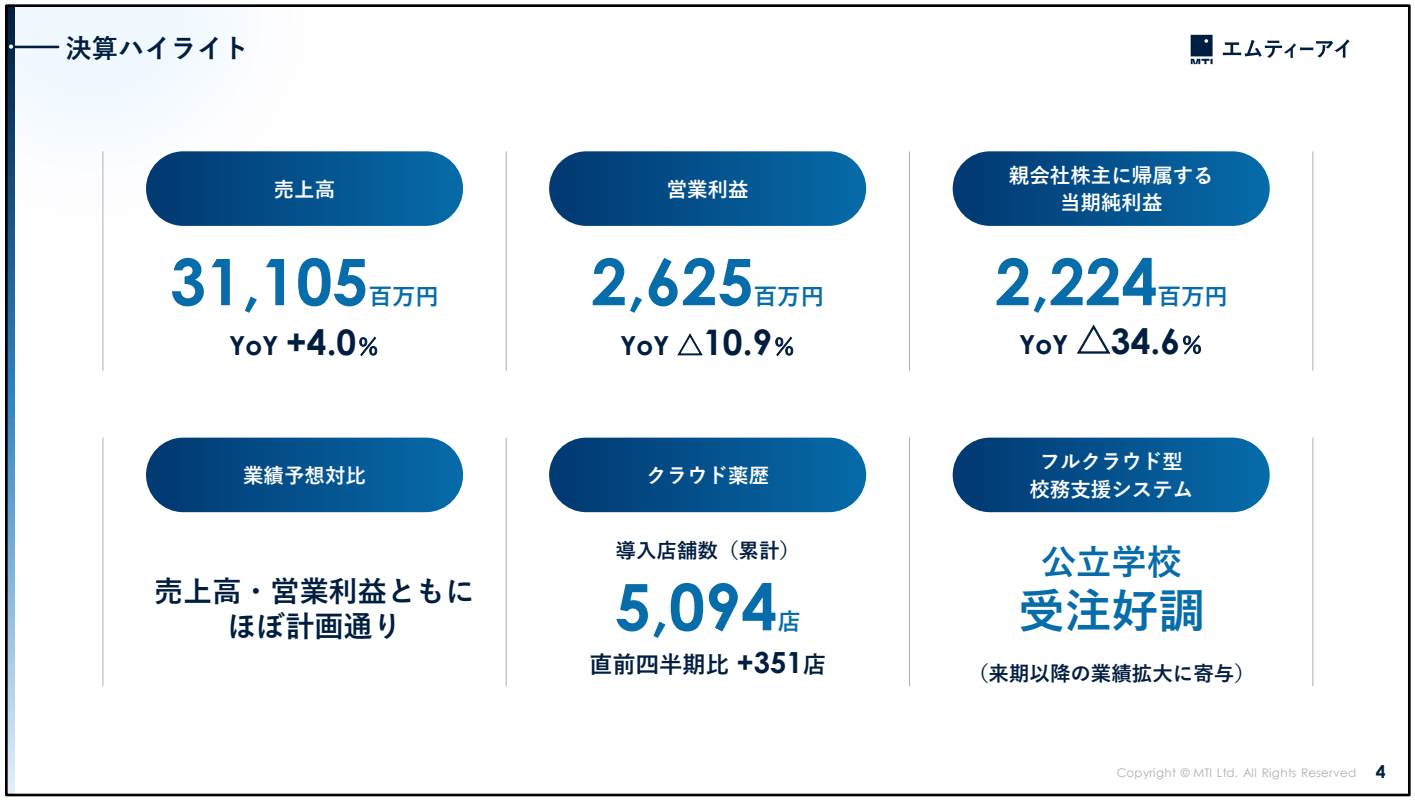
付属資料 P32-
- 連結PL推移
- 連結販管費推移
- セグメント別業績
- 連結BS

Copyright © MTI Ltd. All Rights Reserved

FY2026決算概要

Copyright © MTI Ltd. All Rights Reserved

2026年9月期の決算概要について、ご説明します。



決算ハイライトです。

2026年9月期は、売上高311億円と前期から増収となりました。
一方、営業利益は26億円、当期純利益は22億円となり、
いずれも前期を下回りました。

事業面では、クラウド薬歴の導入店舗数が5,000店を突破し、
学校DXでも公立学校向けの受注が進みました。

全体としては、成長事業の売上や顧客基盤が拡大する一方、
先行する費用負担が利益面に表れた１年となりました。

各事業の具体的な状況については、セグメント別にご説明します。

連結PL

エムティーアイ

売上高：増収　営業利益：減益　経常利益：横ばい　当期純利益：減益

（単位：百万円）	FY2025	FY2026	前期比 金額	前期比 増減率	
売上高	29,910	**31,105**	+1,194	+4.0%	ヘルスケア事業、学校DX事業の売上成長
売上原価	7,687	**8,297**	+609	+7.9%	
原価率	25.7%	**26.7%**			
売上総利益	22,223	**22,807**	+584	+2.6%	
利益率	74.3%	**73.3%**			
販管費	19,276	**20,182**	+905	+4.7%	ヘルスケア事業の費用負担増
販管費率	64.4%	**64.9%**			
営業利益	2,946	**2,625**	△320	△10.9%	
利益率	9.8%	**8.4%**			
経常利益	3,027	**3,055**	+28	+0.9%	持分法による投資利益の増加（+362百万円）
利益率	10.1%	**9.8%**			
親会社株主に帰属する当期純利益	3,404	**2,224**	△1,179	△34.6%	還付消費税等の減少（△1,248百万円）
利益率	9.2%	**7.2%**			

Copyright © MTI Ltd. All Rights Reserved

続いて、連結PLです。
売上高は増収となりましたが、
売上原価と販管費の増加により、営業利益は減益となりました。

一方、持分法による投資利益が約3.6億円増加し、
経常利益は前期並みを確保しました。

最終利益は、前期に計上した 還付消費税の影響が 縮小したことから
減益となっています。

連結販管費内訳

エムティーアイ

販管費：増加（人件費、支払手数料、外注費）

（単位：百万円）	FY2025	FY2026	前期比 金額	前期比 増減率
販管費総額	19,276	**20,182**	+905	+4.7%
広告宣伝費	3,660	**3,639**	△21	△0.6%
人件費	7,504	**7,612**	+107	+1.4%
支払手数料	3,113	**3,386**	+272	+8.8%
外注費	1,734	**2,104**	+370	+21.4%
減価償却費	1,224	**1,277**	+53	+4.3%
その他	2,039	**2,161**	+122	+6.0%

Copyright © MTI Ltd. All Rights Reserved

販管費の内訳です。
販管費は、前期から約9億円増加し、約200億円となりました。
広告宣伝費は前期並みの水準となった一方、
人件費、支払手数料、外注費が増加しています。
事業拡大に伴う開発・運用体制の強化などにより、
販管費全体では増加となりました。

業績予想に対する達成率

エムティーアイ

売上高～経常利益：　ほぼ計画通り　　当期純利益：　下振れ（ソフトウエア減損損失など）

（単位：百万円）	FY2026 直近予想	FY2026 実績	差異	達成率
売上高	31,500	**31,105**	**△394**	**98.7%**
営業利益	2,700	**2,625**	**△74**	**97.2%**
経常利益	3,100	**3,055**	**△44**	**98.6%**
親会社株主に帰属する当期純利益	2,680	**2,224**	**△455**	**83.0%**

Copyright © MTI Ltd. All Rights Reserved

直近の業績予想に対する着地です。
第3四半期決算発表時に修正した業績予想に対し、
売上高、営業利益、経常利益は、概ね計画通りの着地となりました。

一方、当期純利益は、
ソフトウエアの減損損失などを計上したことにより、
達成率は約83%となりました。

セグメント別業績

エムティーアイ

コンテンツ事業	ヘルスケア事業	学校DX事業	その他事業
• コンテンツ事業 ・エンタメ・ライフ系コンテンツ ・セキュリティ系コンテンツ • オリジナルコミック事業	• 薬局DX事業 • 子育てDX事業 • ウィメンズヘルスケア事業	• 学校DX事業	• AI事業 • DX支援事業 • 法人向けソリューション



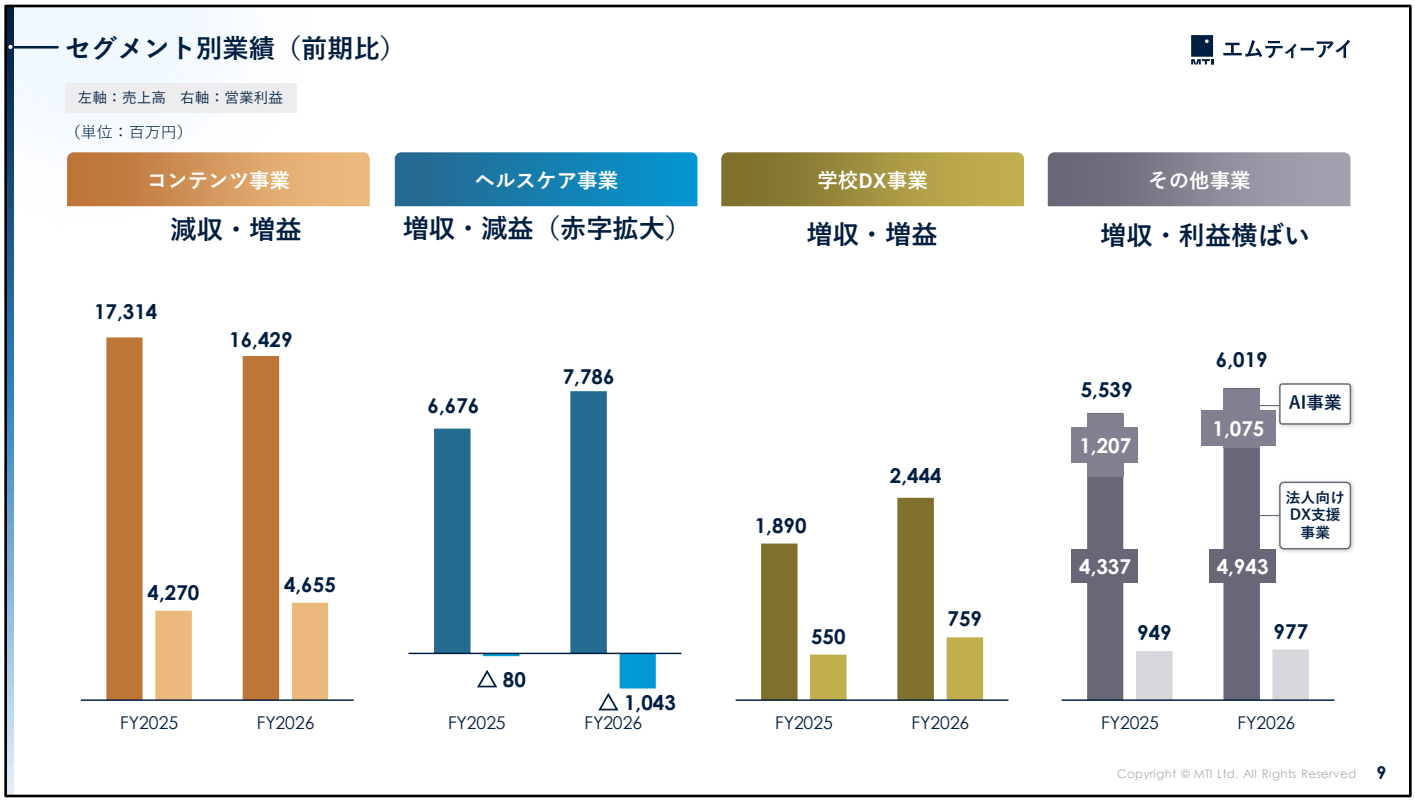






Copyright © MTI Ltd. All Rights Reserved

続いて、セグメント別の状況をご説明します。



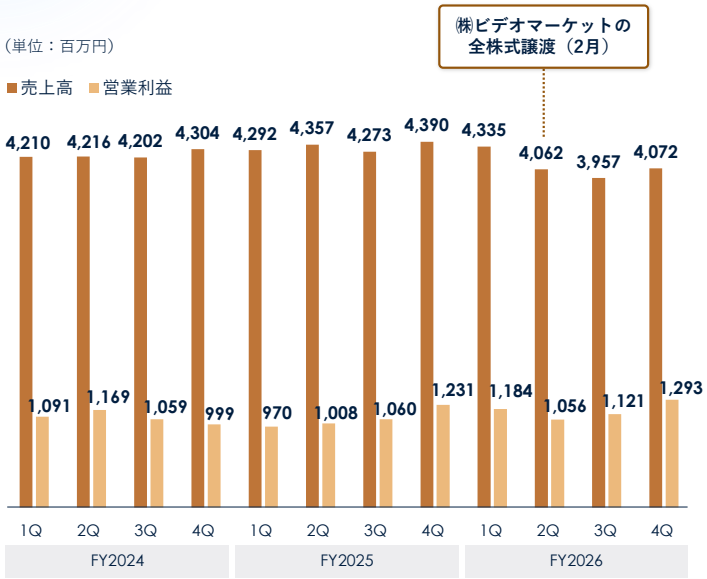
通期のセグメントごとの業績です。
コンテンツ事業は減収増益、ヘルスケア事業は増収となった一方、
営業赤字が拡大しました。

学校DX事業は大幅な増収増益、その他事業は増収、
利益は概ね横ばいとなりました。

それでは、各事業の状況について順にご説明します。

コンテンツ事業：売上高・営業利益

エムティーアイ



直前四半期比

売上高	増加
営業利益	増加

- **ポイント処理の見積計算方法の適正化**

Copyright © MTI Ltd. All Rights Reserved.

各セグメントの四半期推移と主要KPIについてご説明します。

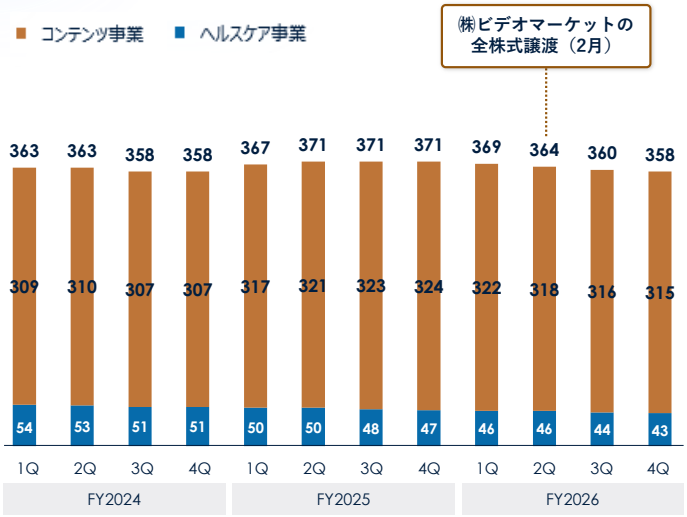
まず、コンテンツ事業です。
第4四半期の売上高は40億円となりました。

営業利益は、ポイント処理に関する 見積計算方法の適正化 による影響もあり、前四半期から増加し、12億円となりました。

コンテンツ事業（主要KPI）：有料会員数

エムティーアイ

（単位：万人）



有料会員数 **横ばい**

358万人（コンテンツ事業は315万人）

【サービス概要】

動画・音楽・電子書籍、天気・地図、セキュリティ関連アプリなど、多様な月額有料会員サービスを提供

- エンタメ・生活情報など幅広いサービスを展開
- セキュリティ関連アプリも提供

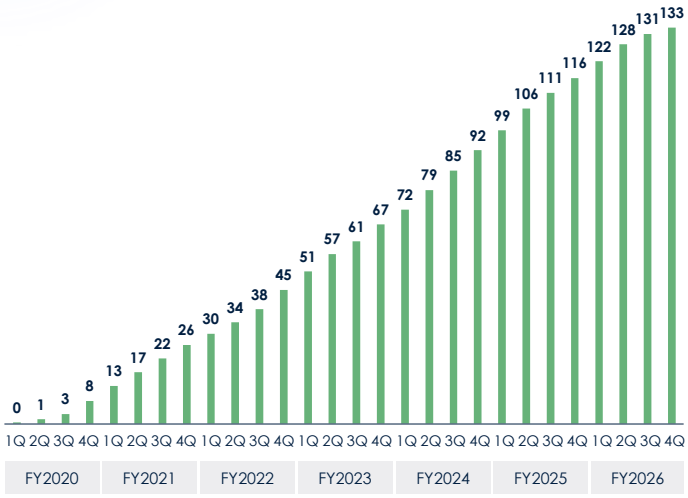
Copyright © MTI Ltd. All Rights Reserved

有料会員数は、ヘルスケア事業を含めて358万人、
うちコンテンツ事業は315万人です。
直前四半期からは概ね横ばいとなりました。

コンテンツ事業（主要KPI） ：セキュリティ関連アプリ会員数

エムティーアイ

（単位：万人）



セキュリティ関連アプリ

ADGUARD

有料会員数 **133万人**

【サービス概要】

広告、Web上の追跡、危険なサイトなどをブロックし、子どものインターネット利用を保護する機能も備えたサービス

- 広告ブロック／追跡ブロック／脅威ブロック
- ペアレント機能（子どもの保護機能）

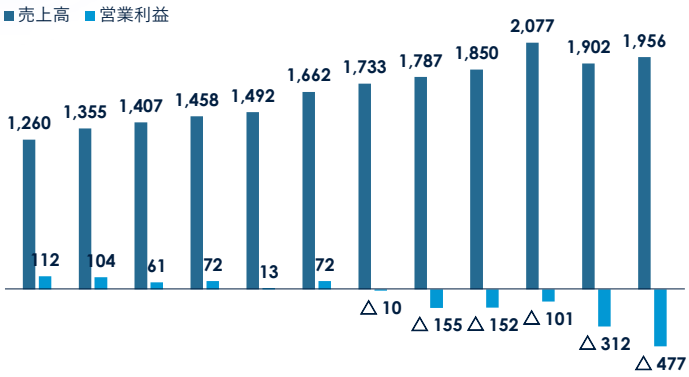
Copyright © MTI Ltd. All Rights Reserved

これまで 有料会員数の増加をけん引してきた セキュリティ関連アプリは、9月末で133万人となり、足元では伸びが緩やかになっています。

ヘルスケア事業：売上高・営業利益

エムティーアイ

（単位：百万円）



	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
	FY2024				FY2025				FY2026			
主な投資事業※の赤字額									△166	△201	△335	△462
上記控除後の営業利益									14	100	23	△15

※クラウドレセコン事業、母子モ事業、ルナルナみらいサポート

直前四半期比

売上高 伸長

営業利益 赤字拡大

- **薬局DX**（次世代型クラウドレセコン）**の開発継続**
- **ルナルナみらいサポート費用負担増加**

Copyright © MTI Ltd. All Rights Reserved

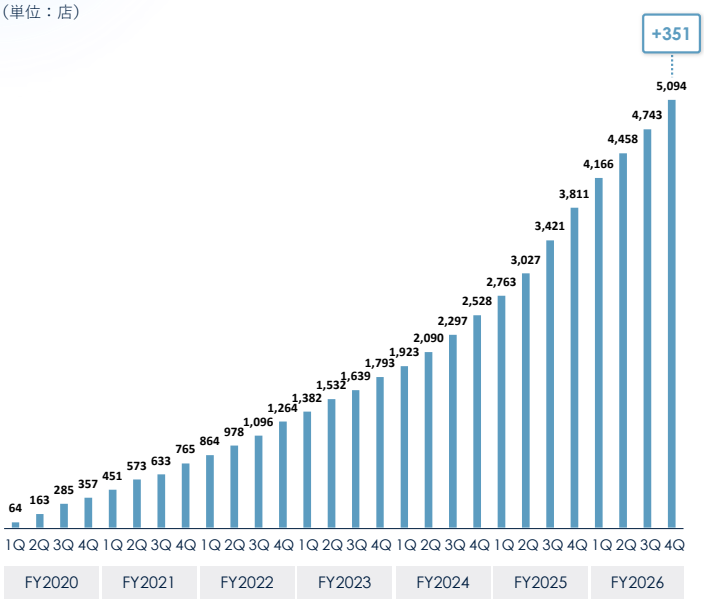
続いて、ヘルスケア事業です。
第4四半期は、売上高19億円、営業損失は4.7億円となりました。
売上高は前四半期から微増した一方、営業赤字は拡大しています。
通期では増収となった一方、費用負担の増加により、
営業赤字が拡大しました。

主に、クラウドレセコン、ルナルナみらいサポート、子育てDXにかかる費用が影響しています。

ヘルスケア事業（主要KPI）：クラウド薬歴の導入店舗数

エムティーアイ

（単位：店）



クラウド薬歴

CARADA 電子薬歴 Solamichi

導入店舗数 **5,094店**

- **中規模以上の薬局・ドラッグストアへの導入が寄与**

【サービス概要】

調剤薬局向けのクラウドサービス。
薬剤師が患者への服薬指導や薬歴作成を効率的に行える。

- 薬歴の作成・管理
- 服薬指導をサポート
- 複数店舗間で薬歴を参照

Copyright © MTI Ltd. All Rights Reserved

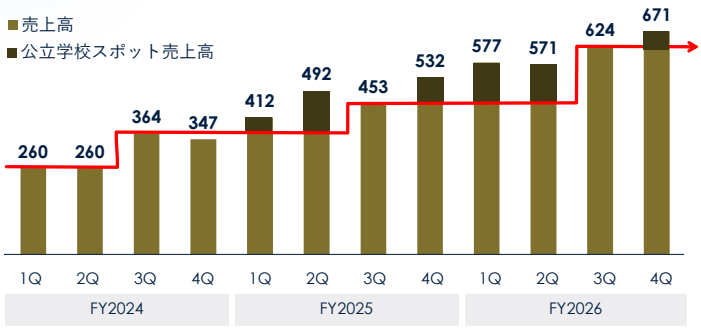
クラウド薬歴の導入店舗数は5,000店舗を超え、前四半期から約350店舗増加しました。
中規模に加え、大規模な調剤薬局への導入も進み、導入店舗数は着実に拡大しています。

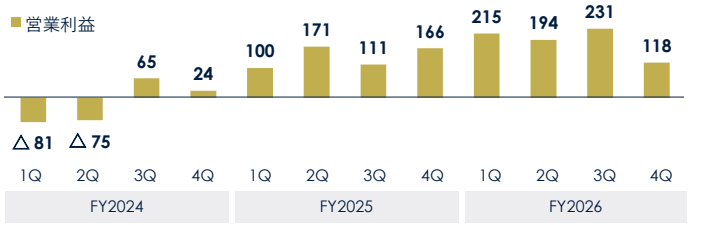
今後は、この顧客基盤を活かし、クラウド薬歴に加えて、
さまざまな薬局DXサービスの展開につなげていきます。

学校DX事業：売上高・営業利益

エムティーアイ

（単位：百万円）





直前四半期比

売上高	伸長
営業利益	減少

- ＋公立学校：初期導入売上
- － 開発強化

ストック型ビジネスを実現

導入数拡大とともに階段式に
収益が積み上がる構造

Copyright © MTI Ltd. All Rights Reserved

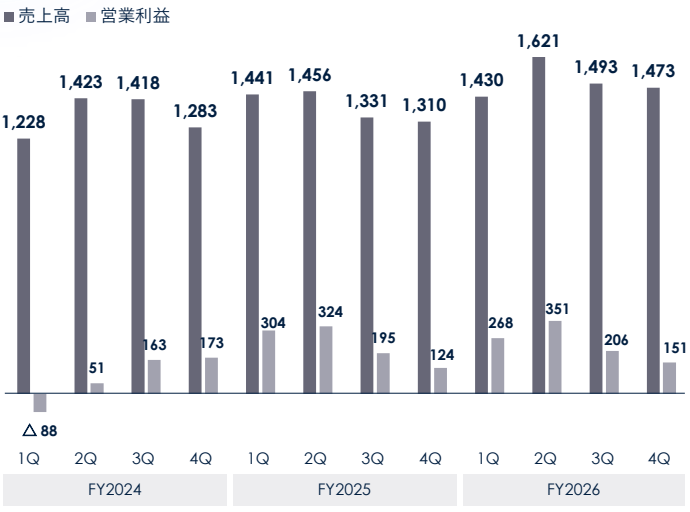
学校DX事業の第4四半期は、売上高6.7億円、
営業利益1.1億円となりました。
前四半期比では、公立学校向けの初期導入売上により、
売上高は伸長しました。

一方、営業利益は、公立学校向けの開発に伴う外注費の増加により、
前四半期を下回りました。

その他事業：売上高・営業利益（法人向けDX支援、AI等）

エムティーアイ

（単位：百万円）



直前四半期比

売上高	横ばい
営業利益	微減

- 法人向けDX支援事業は堅調
- AI事業（スポット案件）の受注減

Copyright © MTI Ltd. All Rights Reserved

その他事業の第4四半期は、
売上高14億円、営業利益1.5億円となりました。
法人向けDX支援事業は堅調に推移しましたが、
AI事業では受注に変動があり、営業利益は前四半期をわずかに下回りました。

FY2027の取り組み

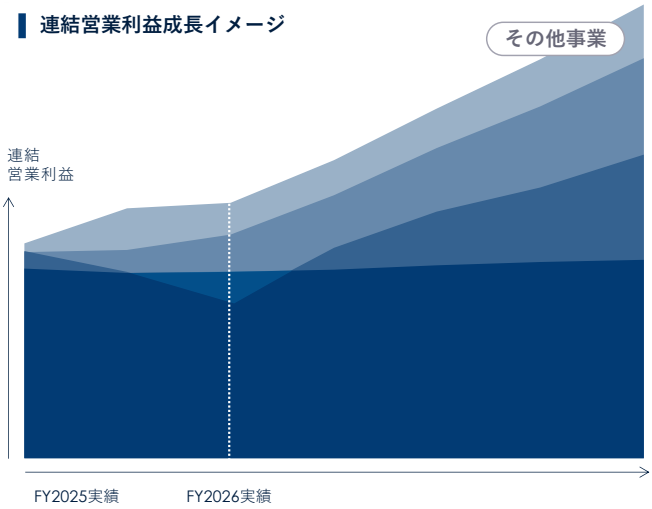
Copyright © MTI Ltd. All Rights Reserved.

続いて、2027年9月期の取り組みです。

エムティーアイ

学校DX事業：短期～中期　ヘルスケア事業：中期～長期に収益貢献

連結営業利益成長イメージ



学校DX事業

売上・利益成長

- 私立学校向け導入数拡大
- 公立学校向け導入数拡大

ヘルスケア事業

売上・利益成長

- 薬局向け　：クラウド薬歴事業の成長
- 自治体向け：子育てDXプラットフォーム戦略推進

コンテンツ事業

利益確保

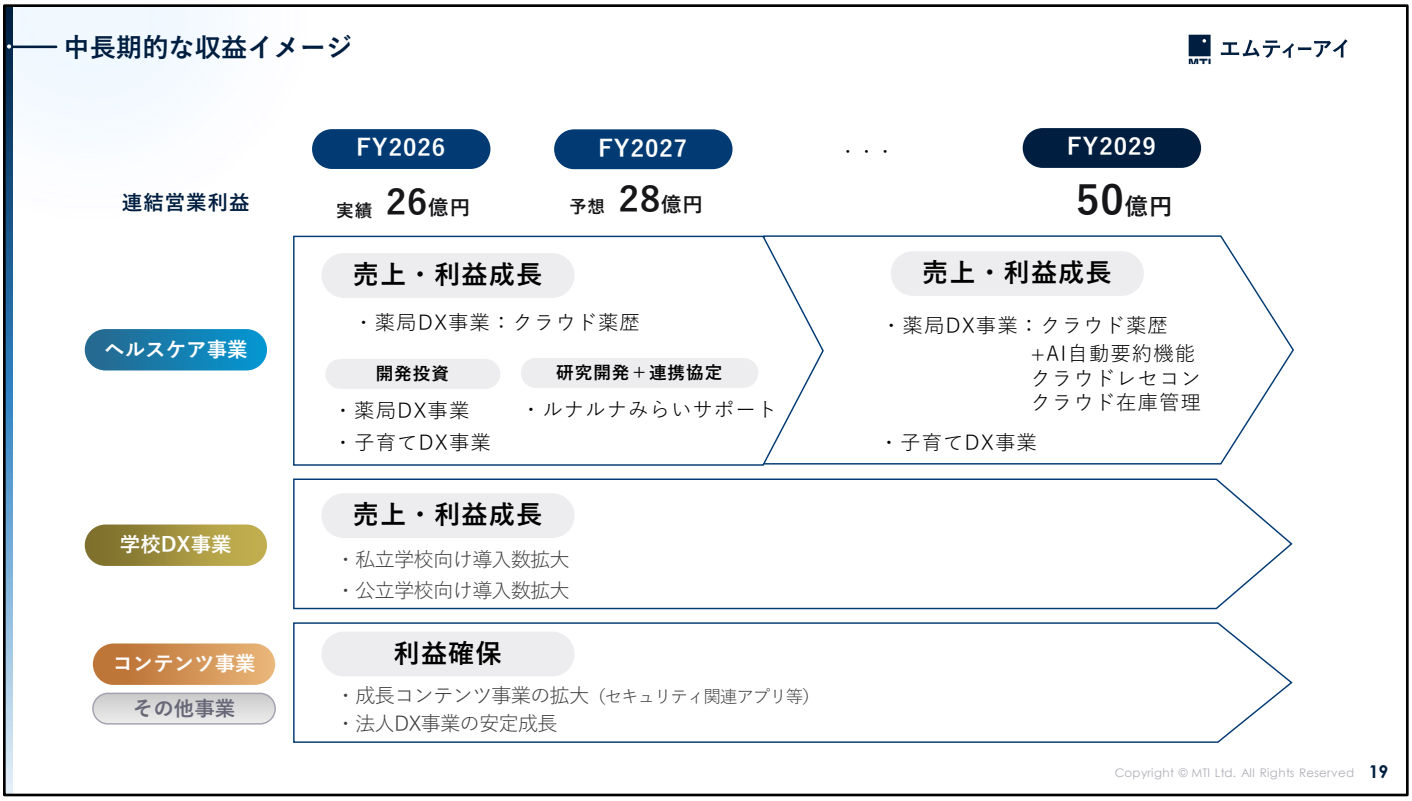
Copyright © MTI Ltd. All Rights Reserved

各事業の位置づけについてご説明します。
コンテンツ事業は、引き続き、安定的に利益を生み出す役割を担います。

学校DX事業は、私立学校での拡大を維持するとともに、
市場の大きい公立学校での受注拡大によって、利益成長を目指します。

ヘルスケア事業については、薬局DXや子育てDXを成長させることにより、
中長期的な利益成長につなげていきます。

このように、コンテンツ事業で安定的に利益を確保しながら、
複数の事業で全体の利益成長を支える収益構造への移行を進めていきます。



その中期的な収益イメージがこちらです。
2026年9月期の連結営業利益の実績は26億円であり、
2027年9月期の予想は28億円と、前期比では微増となる計画です。

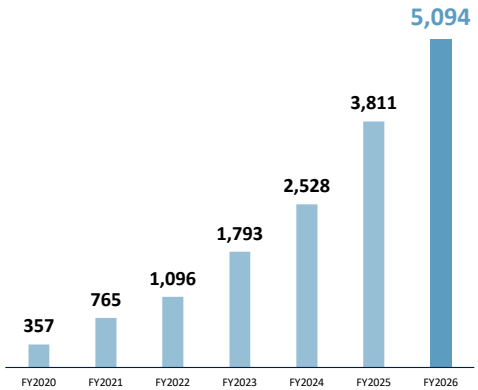
学校DX、薬局DX事業を中心に売上の拡大を見込む一方、
本格的な利益成長には、もう少し時間がかかる見通しです。
その先は、学校DX、薬局DX、子育てDX事業を中心に、
複数の成長事業から利益貢献を積み上げることで、
まずは2029年9月期までに　連結営業利益50億円を目指していきます。

（ご参考）ヘルスケア事業：薬局DX事業（クラウド薬歴）

エムティーアイ

クラウド薬歴の調剤薬局数は、順調に積み上がっている

導入数（累計）



導入数さらなる拡大へ 中規模以上の薬局・ドラッグストアへの導入

薬剤師、薬局幹部向けの全国体験会が好評



服薬指導ナビゲーション
CARADA 電子薬歴
Solamichi

AI自動要約機能
corte※

※「corte」（コルテ）は、当社子会社株式会社ソラミチシステムと株式会社corteの共同開発です。
※「corte」は、株式会社corteの商標登録です。

Copyright © MTI Ltd. All Rights Reserved

ここからは、各事業・サービスの取組みをご紹介します。

クラウド薬歴の導入は好調に推移し、引き合いも高い状況が続いています。

さらなる導入拡大に向けて、薬剤師や薬局経営者を対象としたを全国規模の展示会を開催しています。
実際にサービスを操作いただくと、大変使いやすいとの高い評価を得ています。

エムティーアイ

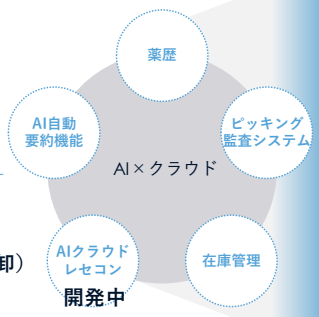
調剤薬局のAI・クラウド化による省人化を推進

次世代型 AIクラウドレセコン商用化

取引実績

導入店舗数
延べ13,000店舗
との接点

販売チャネル
協業先（大手医薬品卸）
との営業連携



次世代型
AIクラウドレセコン

1月販売予定



※画面は開発中のものです。実際の仕様とは異なる場合があります。

将来の利益成長モデル
（収益拡大のシナリオ）

レセコン販売開始

▼

薬局DXサービスの
クロスセル

▼

1店舗当たり売上拡大

▼

利益成長

Copyrights © MTI Ltd. All Right Reserved

次に、AIクラウドレセコンについてです。

AIクラウドレセコンは、来年1月から販売予定です。
事前申し込みが好調に積み上がっています。

今後は、AIクラウドレセコンのほか、薬歴や在庫管理、ピッキングなどの各種サービスを連携させ、薬局業務全体のAI・クラウド化を進めていきます。

これにより、薬局業務の省人化やコスト削減につなげていきます。
また、各種サービスのクロスセルによって1店舗当たりの売上を増やし、薬局DX事業の利益成長につなげていきます。



母子手帳アプリは900以上の自治体に導入され、自治体シェアは52%となりました。
また、小児予防接種や乳幼児健診などの高単価の子育てDXサービスも、導入が拡大しています。

足元では、小児予防接種の、2027年、2028年4月の導入に向けた取り組みが順調に進んでいます。



ウィメンズヘルスケア事業での取組み事例です。

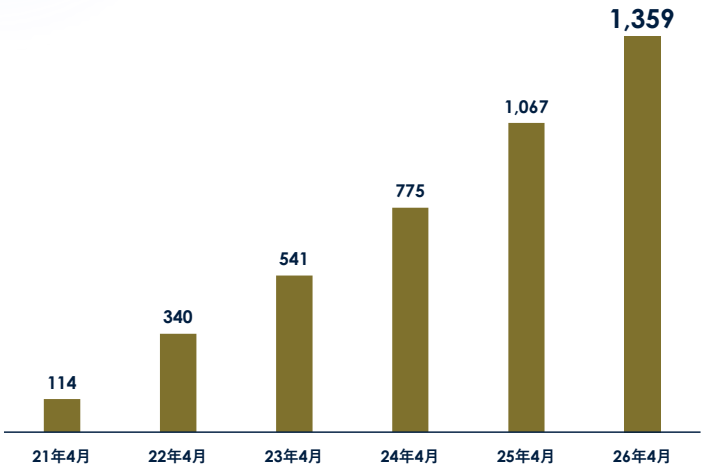
ルナルナみらいサポートは、既存のエンドユーザー向けサービスの一部を、
自治体を通じて住民に無償提供し、市町村のみならず、
県単位での利用拡大と効果検証を進めています。

2027年9月期は、対象地域での利用状況や効果を確認しながら、
有償化に向けた協議を進め、継続可能な事業モデルの構築を目指していきます。

学校DX事業：私立学校

エムティーアイ

（単位：校）



※導入学校数：学校法人統合や中学・高等学校アカウント統合等に伴う解約を反映
※私立学校シェア：文部科学省ホームページ（令和6年度学校基本調査令和7年12月26日公表）より当社算出。専修学校は、高等学部をおく学校のみカウント。

BLEND

私立学校シェアの持続的拡大

導入学校数 **1,359校**

私立学校シェア **50.0%**

- **ストック収益の安定成長に寄与**

Copyright © MTI Ltd. All Rights Reserved

学校DX事業では、私立・公立学校への導入拡大に取り組んでいます。
私立学校では、導入校数が拡大し、シェアは50%となっています。
今後は、中学校・高等学校でのシェアを維持・拡大するとともに、
小学校や専門学校、大学などにも対象を広げ、さらなる事業拡大につなげていきます。

エムティーアイ

公立学校の受注拡大（県域単位）

都道府県単位での受注拡大

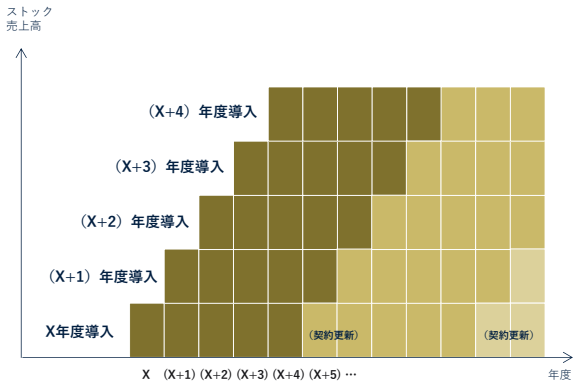
受注実績

• 2025年4月導入	山梨県　高等学校	都道府県単位初受注
• 2026年4月導入	山梨県　小・中学校	
• 2027年4月導入予定	福島県　小・中学校 福島県　高等学校 島根県　高等学校 栃木県　高等学校 沖縄県　高等学校 多賀城市　小・中学校 鎌倉市　小・中学校	

初期売上：FY2026 4Q～FY2027 2Qに計上予定
運用売上：FY2027 3Q以降に計上予定（5年間）

成長余力が大きい

来期以降のストック売上の積み上げイメージ



Copyright © MTI Ltd. All Rights Reserved

公立学校向けも好調であり、導入拡大フェーズに入っています。

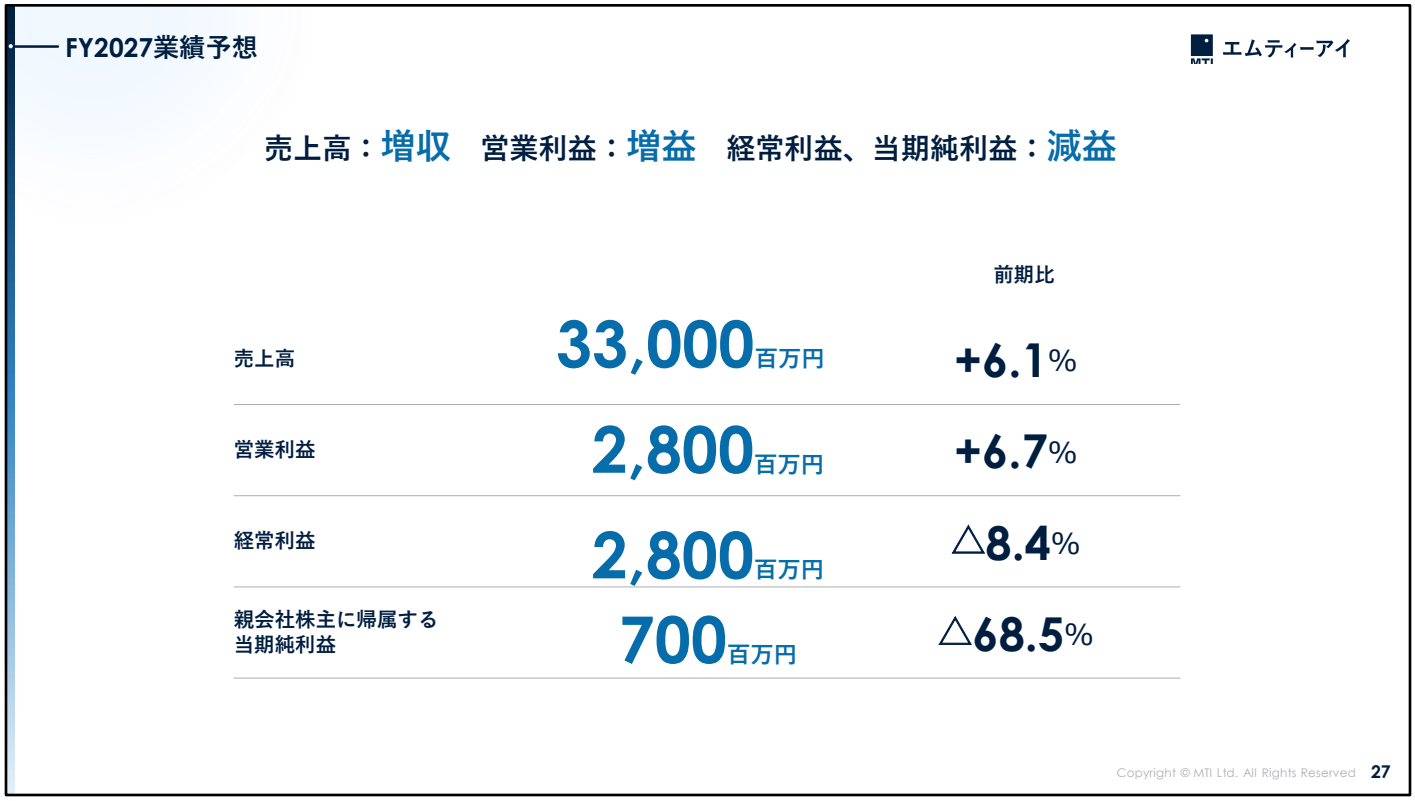
2027年4月導入予定は、福島県、島根県、栃木県、沖縄県が確定しているほか、市区町村の案件も進んでいます。

今後も引き続き、受注数の拡大に取り組むことを通じて、来年度以降のストック収益につなげます。

FY2027業績予想

Copyright © MTI Ltd. All Rights Reserved

以上の取り組みを踏まえ、2027年9月期の連結業績予想は、
次のとおりです。



2027年9月期の売上高は、学校DXや薬局DX事業の伸長により、
前期比微増の330億円を見込んでいます。
営業利益は、AIクラウドレセコンの開発費が上期まで続くことから、
前期比では微増を予想しています。

一方、当期純利益は、減益を見込んでいます。
昭文社ホールディングスの株式売却に伴い、関係会社株式売却損7.2億円を
計上するほか、前期に特別利益として計上した還付消費税等の影響がなく
なることを織り込んでいます。

FY2027業績予想

エムティーアイ

（単位：百万円）	FY2026（実績）			FY2027（予想）			前期比	
	通期	上期	下期	通期	上期実績	下期	金額（通期）	増減率（通期）
売上高	31,105	14,885	16,220	33,000	16,000	17,000	+1,894	+6.1%
売上原価	8,297	3,793	4,504	9,000	4,400	4,600	+702	+8.5%
売上総利益	22,808	11,091	11,717	24,000	11,600	12,400	+1,192	+5.2%
販管費	20,183	9,451	10,732	21,200	10,800	10,400	+1,017	+5.0%
営業利益	2,625	1,639	986	2,800	800	2,000	+174	+6.7%
利益率	8.4%	11.0%	6.1%	8.5%	5.0%	11.8%		
経常利益	3,055	2,063	991	2,800	800	2,000	△255	△8.4%
利益率	9.8%	13.2%	6.4%	8.5%	5.0%	11.8%		
親会社株主に帰する当期純利益	2,224	1,757	444	700	△400	1,100	△1,524	△68.5%
利益率	7.2%	11.8%	2.7%	2.1%	△2.5%	6.5%		

Copyright © MTI Ltd. All Rights Reserved

2027年9月期の営業利益28億円のうち、上期は8億円、下期は20億円を計画しており、下期偏重の利益計画となっていますが、上期は、ヘルスケア事業の費用負担が大きく残る見込みです。

一方、下期は、薬局DXと学校DXの導入拡大に加え、ヘルスケア事業のコスト改善を見込んでいます。

資本政策

Copyright © MTI Ltd. All Rights Reserved

最後に、資本政策についてご説明します。

エムティーアイ

中長期的な売上高・利益の持続的成長と株主への利益還元の調和を図る

配当金予想

	中間	期末	年間
2026年9月期	10円	10円 （予定）	20円 （予定）
2027年9月期 （予想）	10円	10円	20円

Copyright © MTI Ltd. All Rights Reserved

株主還元については、中長期的な売上高・利益の成長と、安定的な配当の両立を基本方針としています。
2026年9月期は、中間配当10円、期末配当10円、年間20円を予定しています。

2027年9月期も、中間・期末ともに同額を予想しています。
成長投資の進捗、業績、財務状況を総合的に勘案しながら、継続的な利益還元に努めます。



株式会社エムティーアイ

お問い合わせ
IR室 E-mail：ir@mti.co.jp

Webページ
https://ir.mti.co.jp

説明は以上となります。
ありがとうございました。